

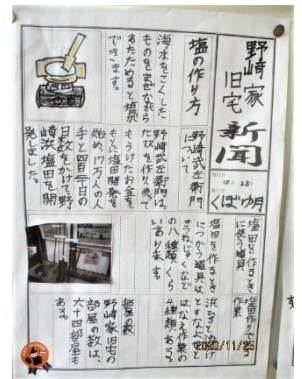


ONE TEAM

赤崎小学校
校長だより 33号
令和2年12月8日

<新聞づくりで表現力アップ!>

4年生の教室や踊り場の掲示板に、社会科の学習で取り組んだ児童の新聞が貼られていました。今回は、昔、児島で栄えていた塩田についての内容でした。実際に自分たちが体験した塩づくりのことや塩田王と言われた野崎武左衛門のことなどです。手書きの図や絵、資料から引用した写真などを上手に活用して、分かりやすく丁寧に書かれていました。学習は、インプットも大切ですが、それ以上にアウトプットが大切です。学んだことを如何に伝えるか、また、実生活にどう生かすかも学びの中に取り入れながら指導していきたいと思います。



<いらっしゃいませ!>

1年生が、生活科の学習で、秋見つけで拾ってきたドングリや落ち葉を使って、グループで協力しながらゲームを作っていました。「どんなつくりにしたら楽しいか。」「どんなルールにしたら面白いか。」あれこれと相談しながら学習を進めていく姿を見ると大きな成長を感じます。道具が出来上がったグループは、お店屋さんのように呼び込みの練習をしたり、お客さんへルール説明の練習をしたり、開店までの準備を着々と進めていました。



<飛ばしたよ!楽しかったよ!紙ヒコーキ!>

12月5日(土)に、赤崎小学校の体育館で、第2回放課後子ども教室が行われました。今年の催しは、「紙ヒコーキをとばして王国を救え!」と題して、自分で作った紙飛行機を使って、いろいろな競技に挑戦するという企画でした。遠くに飛ばしたり、的をめがけて飛ばしたりして競いました。



様々な賞品も準備されており、参加した児童は満面の笑顔で受け取っていました。企画運営してくださった実行委員の方、本当に有難うございました。

<赤小の仲間だ!いつでもどこでも仲よくしよう!>

12月7日(月)から11日(金)までの1週間は、なかよし週間です。月曜日には、運営委員会による放送でのなかよし集会を行いました。1つ目は、伝言ゲームです。テレビ画面を使って、列の先頭の人に問題の1文字を見せ、その文字を列の次の人の手のひらに書いて伝え、最後に中庭に向かって全校で一斉に答えを言いました。2つ目は、言葉つなぎゲームです。クラスごとに伝えておいた1文字を中庭に向かって言い、その言葉をつなげた言葉を全校で一斉に言うゲームでした。代表委員会を通して、子どもたちが考えてくれたこのゲームで、全校の児童が仲よくしようという気持ちを強めることができました。また、今月の歌「あなたにありがとう」を全校で歌い、盛り上げました。そして、校長からは、18日(金)まで取り組む「いいことゆうびん」について話しました。特別な



ことでなくても、普段心がけている挨拶や服装、勉強の頑張りや友だちへの思いやり、学校や地域の決まりを守っていることなどを「いいことゆうびん」として、友達に伝えてほしいという内容です。このなかよし週間の取組を通して、人権意識が今まで以上に高まるようになればと思います。

